製品安全データーシート

（Ｍ　Ｓ　Ｄ　Ｓ）

１．化学物質及び会社情報

化学物質等の名称	ウルタイトスーパーＶ　主剤 クロロプレンゴム系接着剤
会社名	東邦化成工業株式会社
住所	〒171-0033　東京都豊島区高田 2-1-12
電話番号	TEL　03-3988-3366　FAX　03-3985-6975
担当部門	技術部
作成日	2003.3.30
改定日	2008.10.1

２．

危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分２
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外

	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類対象外（粉じん）
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない（ミスト）
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A-2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 3（麻酔作用） 区分 3（気道刺激性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1（中枢神経系、末梢神経系）
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分 2
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 引火性の高い液体及び蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
眠気又はめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による中枢神経系、末梢神経系の障害
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に毒性

注意書き： 【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
【救急処置】
火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吐かせないこと。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚（又は毛髪）に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。。
【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報：

３．組成、成分情報

単一物質、混合物の区別　　混合物

化学名：　　クロロプレンゴム系接着剤

成分及び含有量：	含有量	化審法	ＣＡＳ NO.
クロロプレン系合成ゴム	20.0～24.0	7－857	9010－98－4
２，６ジターシャリブチル４メチルフェノール	～１.０	3－540	128－37－0
フェノール樹脂	0.5～1.5	7－903	9003－35－4

トルエン	43.0～47.0	3－2	108－88－3
n―ヘキサン	28.0～32.0	2－6	110－54－3

国連分類：　クラス３（引火性液体）

国連番号：　１１３３（接着剤）

４．応急処置

吸入した場合：　被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師の手当、診断を受けること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚を速やかに洗浄すること。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

医師の手当、診断を受けること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合：　水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

医師の手当、診断を受けること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

飲み込んだ場合：　口をすすぐこと。

医師の手当、診断を受けること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状：吸入すると、咳、咽頭痛、めまい、し眠、頭痛、吐き気、意識喪失。

皮膚に接触すると、皮膚の乾燥、発赤。

眼に接触すると、発赤、痛み。

飲み込むと、灼熱感、腹痛、咳、咽頭痛、めまい、し眠、頭痛、吐き気、意識喪失。

最も重要な兆候及び症状：

５．火災時の措置

消火剤 粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂

使ってはならない消火剤 棒状水

火災時の特定の危険有害性

燃焼したとき多量の黒煙を発生する。生成ガス中には、有害な一酸化炭素などが含有される。

特定の消火方法

火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却する。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

大規模火災の際には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。

消火を行う者の保護(保護具等)

消火作業の際には必ず保護具を着用する。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する

６． 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

環境に対する注意事項

河川等に少量でも流入しないように注意する。

除去方法

少量の場合、漏洩した液は土砂などに吸収させて密閉可能な空容器に回収する。この時、火花を発生しない安全なシャベル等を使用する。多量の場合、漏洩した液は土砂等でその流れを止め、液の表面を泡（消火剤）で覆った後密閉可能な空容器にできるだけ回収し、その後少量の場合と同様の処置を行なう。

二次災害の防止策

風下の人を避難させる。

漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。

付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用機材を準備する。

７．取扱及び保管上の注意

取扱

技術的な対策（取扱者の暴露防止、火災爆発の防止など）

吸入、眼、皮膚および衣服に接触を避けるために、適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業する。

容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、あるいは引きずるような取扱いをしない。

過熱、乾燥などにはスチームによる間接加熱方式を用いる。

高温物、スパーク、火気を避け、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。

取扱い作業場の電気設備は、防爆構造とする。

注意事項（局所排気、全体換気、エアロゾル、粉塵発生防止など）

発散源を密封し又は局所排気装置を設置する。

安全取扱い注意事項（混合接触防止、接触回避など）

強酸化性物質との接触を避ける。

保管

適切な技術的対策

貯蔵場所で使用する電気設備は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。

適切な保管条件

容器は直射日光を避け、通風のよい低温の場所に密閉して貯蔵する。

安全な容器包装材料

情報無し

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度： 50ppm トルエン 50ppm n—ヘキサン

設備対策： 全体及び局所排気設備

洗眼設備

保護具： 保護眼鏡、保護手袋、有機ガス用防毒マスク

９．物理的及び化学的性質

外観： 黄白色液体

臭気： 芳香臭

沸点（℃） 111 トルエン 69 n—ヘキサン

蒸気圧（kPa/20℃） 2.9 トルエン 21 n—ヘキサン

比重(25℃) 0.86

溶解性 トルエン、キシレン、エーテル、エステル、ケトン

危険性情報

引火点（℃） 5.0 トルエン −22 n—ヘキサン

発火点（℃） 539 トルエン 260 n—ヘキサン

爆発範囲： 上限 7.1％

下限 1.2％ ただしトルエン

発火性： 自然発火、水との反応：ともに該当せず

酸化性： 該当せず

反応性： なし

１０．安定性及び反応性

安定性： 通常の取扱いにおいては安定である。

流動、撹拌などにより、静電気が発生することがある。

危険有害反応可能強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

性：

避けるべき条件：加熱。

混触危険物質： 酸化剤。

危険有害な分解生加熱分解により一酸化炭素、ニ酸化炭素を生じる。

成物：

１１．有害性情報

皮膚腐食性：　　　　　　なし

刺激性：　　　　　　　　眼に対して、蒸気、液ともに中程度の刺激性があり、皮膚に対しても弱い刺激性がある。繰返しの接触により脱脂症状を生ずる。（ただしトルエン）

感作性：　　　　　　　　データなし

急性毒性：　　　　　　　吸入または皮膚吸収により末梢神経系に影響を与え、めまい、眠気、疲労、四肢の末梢の知覚異常を起こす。高濃度では麻酔性がある。ヒトでは2，000ppm，10分間の暴露では症状を示さないが、5，000ppmではめまいを起こす。飲み込むと肺に吸引され、化学性肺炎を起こす危険性がある。

１２．環境影響情報

魚毒性 キンギョ 24時間 LC50 4mg／L （ただしヘキサン）

１３．廃棄上の注意　　　　焼却処理

容器は中味を使い切ってから条例に従って
処分して下さい。

１４．輸送上の注意　　　　火気厳禁

漏洩注意　容器損傷回避

１５．適用法令

労働安全衛生法： 名称等を通知すべき有害物
（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）
（政令番号　第407号）
　危険物・引火性の物
（施行令別表第１第４号）
　第２種有機溶剤等
（施行令別表第６の２・有機溶剤中毒予防規則第１条第１項第４号）
　名称等を表示すべき有害物
（施行令第１８条）
労働基準法： 疾病化学物質
（法第７５条第２項、施行規則第３５条別表第１の２第４号）
化学物質排出把握管理促進法
（ＰＲＴＲ法）： 第１種指定化学物質
（法第２条第２項、施行令第１条別表第１）
（政令番号　第227号）
毒劇物取締法： 劇物
（指定令第２条）
消防法： 第４類引火性液体、第一石油類非水溶性液体

（法第２条第７項危険物別表第１）

船舶安全法：　引火性液体類

（危規則第２，３条危険物告示別表第１）

航空法　：　引火性液体

（施行規則第１９４条危険物告示別表第１）

１６．その他の情報

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの値は、保証値ではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いには、この点の配慮をしてください。また、危険有害性の評価は必ずしも充分ではないので取扱いには充分注意してください。

文献名

化学物質の危険有害便覧

１４５０４の化学商品：化学工業日報社